



令和7年度第1回全体会（令和7年9月2日開催）

委員からのご意見・質問と区の考え方

番号	委員	意見・質問等	当日の回答	対応(区の考え方)	担当
1	伊藤悠子委員	【町会について】 町会に入っていたら、災害が起こったときに、その町会単位で、区から食糧等を配布されると聞いたが、町会に入っていない人は、そういう物資がもらえないのか。	小学校や中学校などを避難所に指定しており、避難所には備蓄物資として食糧や水などを備蓄しています。災害時には、基本的に町会の方などで構成する自主防災組織が避難所を運営していただくことになりますが、備蓄物資については、避難された方に対して平等にお配りするのが基本的な考え方となります。 町会に入って日頃から色々な付き合いをしていると、どこにお住まいの方ということが分かりますので、避難時の対応がスムーズにいくことになります。	当日の回答のとおり	市民協働課
2	福山委員	【町会の会費について】 町会の会費はそれぞれ違うのか。	(山上委員より回答) 町会によって、運営によって変わってきます。	各町会の規約において会費が定められているため、それぞれの町会ごとに異なります。	市民協働課
3	小林委員	【町会について】 日本語が全くできない方が町会に登録しても町会の方も結構大変ではないか。民泊が多い地域は、災害時に町会の方が困る部分があるのではないかな。	(山上委員より回答) 携帯の翻訳を活用したりもしています。ごみの出し方についてもいろんな外国語の回覧があり、外国人が来ても住みやすいように町会も区役所もチラシを作成しています。ごみ出しについては、民泊の方のところに何度も足を運んだりと努力しています。一緒に住む限りは、やっぱり人と人ですから、住みやすいようにやっています。	民泊における災害時の対応については、旅行者の発災時における滞在場所は滞在又は予約している宿泊施設が基本となるため、民泊事業者が宿泊者の対応を行うこととなります。そのため、民泊事業者に対して、宿泊者への災害が発生した場合における連絡先の案内などが義務付けられています。	市民協働課
4	高橋委員	【民泊・西成区の再開発について】 民泊の話があるが、国が違えば、習慣が違うということも、我々は大事に考えないといけないと思うし、経済面等でメリットがあることを誰も言わない。万博が終了したら、しばらくインバウンドも来ない。次はカジノの2030年。西成区は2030年に向かって再開発を進める必要があると思う。	――	区のまちづくりにおいては、現在、新今宮駅周辺、天下茶屋駅周辺のまちづくりを進めており、地元の方々のご意見ご協力をいただきながら、より良い状態をめざし引き続き取り組んでまいりたいと考えております。	総務課 総合企画
5	福山委員	【西成区のイメージアップについて】 西成区は衛生面でも改善されているが、悪いことがなくなったというのはあまり外に対してインパクトがない。西成区で「こんな面白いことがあるよ、こんな良いことがあるよ」というプラスの面の面のアピールがないと、どうしてもマイナスだけを払拭するというのは本当に難しいと感じる。なので大阪フィルハーモニーの良いイメージのプラスのところももっと広告塔になれるようにこれからやっていかないといけないと思うので、皆さんもそれぞれ一般レベルでやっていければと思う。	西成区の昔のイメージを持った人たちに、どういうふうにも今の西成を理解してもらうかは大事なことだと思います。そうしてまちのイメージが内外ともにアップしていくと、このまちでいろんな商売をしようとか、事業を立ち上げようとか、土地を開発しようとかという民間の開発の動向に興味を示す企業が増えてくると思います。そのためにちょうど今年区制100周年ですから、これをきっかけに西成のイメージアップをしていきたいと思っています。	当日の回答のとおり	総務課 総合企画課
6	上田委員	【西成区のイメージアップについて】 外国の人がたくさん泊まりに来るが、道に迷われていると、町の人が案内して連れてきてくれたり、重たい荷物持っている外国人の人に親切にしてくれる人もたくさんいる。むしろ都会のたくさん人が行き交っているところでは、みんな無関心に歩いているけれども、このまちの人たちは、本当に親切だということを感じてくれる人が大変多い。そうした声が本当に多いので、人情味のあるまちだということなども伝えていきたいと思う。	――	区のイメージ向上については、文化観光振興事業等の西成特区構想の取組みを着実に進めていくとともに、それらを区内外に向けてしっかりと発信していくなど、「人情のまち」という強みを生かしながら、西成区のイメージアップにつなげてまいります。	総務課 総合企画課
7	上田委員	【西成区の治安について】 動物園前商店街では、居酒屋などが増え、夜などはちょっと繁華街の様相があって、違う意味での治安の悪さというか、酔っ払いの人が多くて、子どもとか、女性が歩くには気が引けるなというふうに変ってきている。地域の状況が激しく変わっていくので、それに対応するような取組が必要だと思う。町会もそういう視点を持っていただいてもいいかもしれないし、NPOなど様々な地域で活動する団体の方がその取組をしていく際に区役所とも連携ができればいいと思う。	――	現在、西成区では16の防犯ボランティア活動団体が登録されており、子どもの安全を見守る活動や自主防犯パトロールなど、いろいろな活動を展開していただいています。区役所におきましては、それらの団体に対してボランティア活動保険を適用するとともに、活動時に着用していただくベスト等を貸与するなど、その活動の支援を行っています。 また、地域の安全意識の向上や街頭における犯罪発生を抑止を図るため、西成区内の地域活動協議会等に対して、防犯カメラの設置費用の一部を補助しています。 まちの変化を踏まえながら、取組について確認しつつ、引き続き、地域と協働して様々な取組を行い、みんなが安心して暮らせるまちとなるよう取り組んでまいります。	市民協働課

番号	委員	意見・質問等	当日の回答	対応(区の考え方)	担当
8	戸崎委員 【意見票】	【新今宮周辺の環境改善について】 新今宮周辺は清潔になり、人が集まる場所(家族連れ等の)になれば、西成区は変われると思う。今取り壊しをしている、労働福祉センターの跡地を文化施設等にしていいただきたい。天下茶屋方面は改善できていると思うが、木津川周辺も改善の余地があると思う。	――	新今宮にある旧あいりん総合センター跡地の活用については、令和3年に地域の方々のご意見を反映した活用ビジョンに基づき、新労働施設と福利・にぎわい施設とすることが予定されており、現在もその詳細について議論が続けられているところです。 区内の環境改善については、環境整備事業なども活用し、引き続き取組を進めてまいります。	総合企画課 市民協働課
9	庄野委員 【意見票】	【令和7年度西成区運営方針の「所属運営の基本的な考え方」の中にある『若い人や子育て世帯を呼び込む』及び西成区のイメージアップについて】 現状少子化が進む中2023年の資料によれば、大阪市の出生数19,200人で西成区は365人で24区中大正区此花区に次ぐ少なさで出生率(人口1,000に対して)は1番低い3.5人の低さである。7月末に娘が出産したが、その時話していたのが一人でいる時に陣痛が来たら不安であるとの事であったので、陣痛タクシー(マタニティタクシー)が来てくれるかを調べたところ大阪市内で北区、福島区、中央区、旭区の4区だけであった。その中で特筆するのが旭区で区役所がタクシー会社と業務提携して区内での陣痛タクシー配車の一翼を担って、タクシー会社のリスクとなる駐車違反対策として区役所、警察が連携して臨時の駐車許可証をマタニティタクシーに出してるとの事で、西成区においても若い子育て世帯を呼び込む施策の一つとして取り入れメディアにも積極的に伝えることが出来れば西成区のイメージアップにもつながると思う。	――	貴重なご意見ありがとうございます。 ご意見いただいた陣痛タクシー(マタニティタクシー)をはじめとする若い子育て世帯のための取組につきましては、他区の事例も参考としながら、当区として検討を行ってまいります。	保健担当 子育て支援担当
10	鈴木委員 【意見票】	【町会と外国籍の住民との接点について】 先日、地域で役をされている方が、やはり言葉の問題で、うまく伝えられないことがあった、とのことで、そういう時に積極的に相談に乗ってもらえるような窓口はないだろうか、と言っておられた。翻訳ソフトなども活用されているようだったが、それだけでは難しい場面もあるのだらうと思った。西成区の住民の16%(数字が違っていたらすみません)が外国籍の方になっている、ということと、昨年度の地域福祉フォーラムの資料で知った。そう考えると、とくに住民の多い国の言語で、地域の方へも、外国籍の方へも、相談に乗っていただけるような方が区役所に配置されていてもいいのではないか、地域のなかでの住民同士のかけはしとして、力を貸していただく、というのはどうか。すでに、そういう仕組みがあるようであれば、教えてほしい。	――	現時点におきまして、ご提案のような地域の皆様と外国につながる住民の皆様の橋渡しの役割を担う相談員の配置はありませんが、今後、他の自治体の事例を参考として、そういった方が配置できるかどうかも含めて、検討してまいりたいと思います。	総務課
11	鈴木委員 【意見票】	【外国にルーツのある方々(大人)への支援について】 子どもたちについては、さまざまな支援があることがわかったが、大人の方についてはどのような状況なのか。西成区内で日本語を学びたい外国人の方へのサポートの状況について知りたくなった。先日、日本での滞在歴は長いものの、これまでの環境でまだ日本語の読み書き、コミュニケーションについて困難のある人と出会った。日本語学校に通うには学費が高く難しいとのことで、大阪市内で無料または安価で教えてもらえるところがないか探した。大阪市HPに掲載されている日本語教室は、ほぼ定員いっぱいとのことで、西成区もいっぱいだった。なお、この講座を受講するための申込は行政オンラインシステムを使う必要があるが、ログイン画面にはふりがながなく、だれかのサポートがなければ難しいのではないかと感じた。	――	日本語を学びたい外国人の方へのサポートについては、大阪市教育委員会生涯学習担当や公益財団法人大阪国際交流センター等で実施しております。 なお、同センターでは、大阪市と連携し、多言語による「外国人のための相談窓口」を開設しており、行政オンラインシステムの操作のサポートを含む、各種のご相談に応じています。 定員超過により、日本語教室への申込が困難になっている旨のお申し出につきましては、所管である大阪市教育委員会生涯学習担当へ区政会議でいただいたご意見として、お伝えさせていただきます。 引き続き、関係機関と連携してまいります。	総務課